

友の会作品展

1. イベント概要

日 時：平成31年1月26日～3月10日
 会 場：信濃川大河津資料館 2階
 内 容：信濃川大河津資料館友の会の会員による作品展が開催されました。
 主催者：NPO法人信濃川大河津資料館友の会
 作品数：約60点



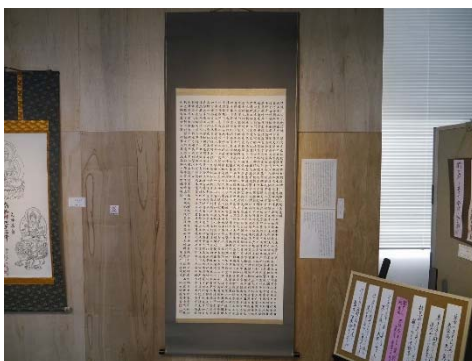
ところ狭しと多彩な作品が並ぶ展示会場。

2. イベント状況

絵画、書道、陶芸、ペーパークラフト、レース編みなど信濃川大河津資料館友の会会員の皆さんが制作した作品が展示されました。旧可動堰をテーマにした絵画や信濃川大河津資料館前にある治水紀行碑の内容を写した書など、60点を超える力作が並びました。来館された方々は、その精巧さや斬新さにしばらく足をとめていかれました。



旧可動堰が稼働していた頃をテーマにした、スタンドグラス風の作品です。旧可動堰に迫る勢いの水流と黄褐色の空が印象的です。



資料館前に佇む巨大な石碑「信濃川治水紀功碑」の文面を写した書。約1400の文字をじっくりと見入る方もいらっしゃいました。



燕市展で市展賞を受賞した書道の作品もあり、もはや趣味の域を超えた芸術作品も多数展示されました。



子ども会員による事務局員をモチーフにした紙粘土の作品。「何かを作る機会をもらえて楽しかったです」と笑顔を向けてくれました。

来館者の声



皆さん、プロになれるんじゃないかという腕前で驚きました。書道や絵画だけでなく、ペーパークラフトや彫刻もあり、自分も作れたら楽しいだろうなと思いました。センスや技術力など必要なこともあると思いますが、機会があればモノづくりの講座などにも参加してみたいです。

(三条市在住のみなさん)

作者の声



定年退職したら信濃川治水紀功碑を書きたいとずっと考えていました。7月の西日本豪雨を受けて石碑による水害の記録の大切さを改めて実感し、大河津分水にある日本屈指の石碑の内容を全紙に大きく書こうと決心しました。書を書くことにより大河津分水のこれまでの歴史を振り返るよい機会となり、石碑を大勢の方に見てもらいたいと思いました。(友の会会員)